

## 平成 29 年度第 2 回 頓原デイサービスセンター運営推進会議

日 時 平成 30 年 3 月 27 日(火)午後 2 時～  
場 所 愛寿園会議室

出席者:

1、あいさつ

2、デイサービスセンター活動報告

3、デイサービスセンター事業計画

4、意見交換

次回開催予定 7 月

平成29年度第2回

# 運営推進会議資料

頓原デイサービスセンター

## 利用料金

### 通所型サービス

(要支援1 月4回 要支援2 月8回の利用の場合)

(1ヶ月あたり)

	負担金	食事代	合計
要支援1	2,008円	2,200円	4,208円
要支援2	3,865円	4,400円	8,265円

※上記金額は1割負担対象の方です。

※食事は1食550円、時間延長なし。

### 地域密着型通所介護

(1日あたり)

	負担金	食事代	合計
要介護1	897円	550円	1,447円
要介護2	1,038円	550円	1,588円
要介護3	1,184円	550円	1,734円
要介護4	1,330円	550円	1,880円
要介護5	1,475円	550円	2,025円

サービス提供体制加算 6単位 入浴介助加算 50単位 個別機能訓練加算 56単位 介護職員処遇改善加算Ⅰ(加算率5.9%)を含めています。

※上記金額は1割負担対象の方です。

※時間延長1時間あたり750円実費(最大2時間夕方のみ可能)

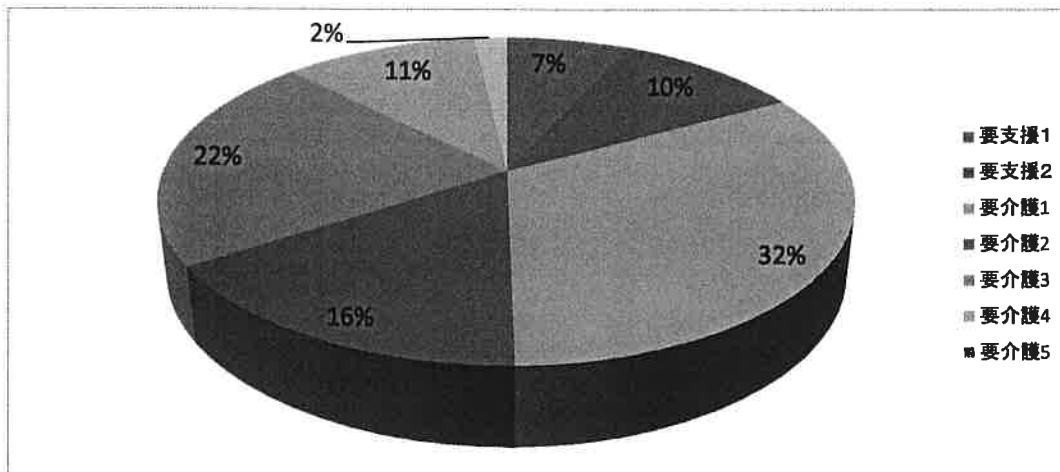


### 30年度変更箇所

※時間延長1時間あたり1,000円(但し、30分未満は切り捨て、30分以上は切上げ)

※キャンセル料 利用日当日の8時までに連絡の無い場合 食費550円を徴収する。

利用状況 (4月~2月)契約者数 61名 平均介護度 1.89 平均年齢 88.5



	利用延べ人数	営業日数	1日の利用人数	利用率
4月	373	25	14.92	83%
5月	371	27	13.74	76%
6月	393	26	15.12	84%
7月	407	26	15.65	87%
8月	409	27	15.15	84%
9月	400	26	15.38	85%
10月	383	26	14.73	82%
11月	403	26	15.50	86%
12月	382	26	14.69	82%
1月	339	25	13.56	75%
2月	345	24	14.38	80%

平均人数 14.80

## 職員体制

管理者1名  
 生活相談員2名(うち1名兼務職員)  
 介護職員6名(うち1名兼務職員)(うち介護福祉士資格者3名)  
 看護職員2名  
 理学療法士1名  
 その他の職員

## 主な行事実施状況

月	行事名	内容
4月	花見ドライブ	桜を見にドライブを実施。飯南町内や雲南市。
	一福での昼食	一福での昼食(対象者のみ)
	お好み焼き作り	昼食にお好み焼きを提供。調理作業を利用者に手伝っていただく。
5月	ポタン見学	赤名のポタン園に見学に行く。
	よさこい踊りボランティア	飯南牡丹組によるよさこい踊り披露。
	小学校探検	頓原小学校に行き児童と交流する。
6月	しめ縄館見学	地域の文化に触れ交流する。
	ラムネミルク堂での茶話会	道の駅に出掛け、茶話会。
7月	しまね花の郷へ遠足	利用者13名参加
	流しそうめん	昼食に流しそうめんを実施。
8月	夏祭り	午後のレクリエーションで射的等の遊びを実施。
9月	外部ボランティア(たかみ一座)	踊り披露。
	公民館見学	新しくできた交流センターとんばらへ見学に行く。
	カレー作り	昼食にカレーを提供。調理作業を利用者に手伝っていただく。
10月	リンゴ狩り	赤来高原リンゴ園へリンゴ狩りに行く。
11月	囃子見学	祭りの囃子見学へ行く。
	豚汁、おにぎり作り	昼食に豚汁、おにぎりを提供。調理作業を利用者の方に手伝っていただく。
12月	お好み焼き作り	昼食にお好み焼きを提供。調理作業を利用者に手伝っていただく。
2月	マジックショー	ボランティアによるマジックショー披露。
	無声映画	無声映画上映。
	すき焼き作り	昼食にすき焼きを提供。調理作業を利用者の方に手伝っていただく。

## 介護保険外サービス状況

### ・配食サービス

1名利用 28食

### ・おむつの販売

18名利用 227個

## その他

### ・家族の集いを年3回実施、家族の集い通信を1回発行

(デイサービス・短期入所ご利用のご家族様対象)

## 平成29年度リスクマネジメント状況

種類	事故報告	ヒヤリハット報告	合計	
転倒	3	4	7	77.8%
転落			0	0.0%
誤嚥			0	0.0%
表皮剥離 皮下出血	1		1	11.1%
その他	1		1	11.1%
合計	5	4	9	

56% 44%

### 事故報告

発生場所 デイサービスホール

状況・経過 運動会のパン取り競争時にパンを取られた時の勢いがつき過ぎていた為、足がついて行かず転倒される。右顔面、右手を打たれる。

処理・処置 アイシングを行い、バイタルを測るもいつもと大きな変わりなし。病院に受診し、頭部CTを撮り診察してもらい、骨や脳に異常がなく打撲と診断される。翌日、家人より、「右手に腫れがあり、痛がっている」と電話連絡があり、受診し、レントゲン撮影の結果、右第4、5指の骨折と診断され、ギブス固定となる。

(治療概要: ■通院■ギブス)

要因分析 転倒のリスクがある方なので、人数は配置できていたがフォローが足りていなかった。競技の前に「競争ではなくパンを撮った表情を写真に撮ります」と説明していたが急がれてしまい転倒されてしまった。

今後の対応 普段からT字杖2本使いながら歩かれているので車椅子を使用する場面も考えられるが、基本的には本人の意思を尊重する。但し職員は常にリスクを考え対応する。行事の際には不測の事態も起こることを頭に置き対応する。

### 【発生場所】

	ホール	トイレ	脱衣場・浴室	園外
事故報告	2		2	1
ヒヤリハット報告		2	2	

## 平成29年度事業反省

### ○サービス目標

サービス目標	反省
・利用者には楽しく、家族には信頼される場所となる。	利用者の意見に対応するように努め、一部の内容(遠足など)については実施できた。担当者会の中で家族に新しい提案ができた。デイサービス利用中に家族が来られる機会があり「こんな表情は家では見られない」と驚かれることもあった。

### ○事業計画

事業計画	反省
①行事の提供	午前中の活動がマンネリ化しており対応職員の意識を高く持つていく必要がある。遠足は好評だったため次年度も行いたい。
②自己研鑽を図る	全職員が施設内研修に5回程度参加できた。外部研修には一部の職員のみであった。
③他事業所との連携	他事業所との意見交換は出来ていたが細かいところまでの意識統一ができないことがあった。

## 平成30年度事業計画

### ○サービス目標

サービス目標	課題	対応策(事業目的・目標値・実施時期等)
・利用者、家族に信頼され、利用者自身がまた行きたいと思う場所にする。	・利用者の思いを叶える ・家族の方との対話	・会話の中から利用者自身の想いや希望、願望をくみ取り、ここに合う対応を行う。 ・家族の思い踏まえながら最善の支援を提案する。 ・利用希望に対して迅速に対応する。

### ○事業計画

事業計画	課題	対応策(事業目的・目標値・実施時期等)
①行事の提案	・月の行事回数 ・利用者の思い	・月に5～6回とし、外部ボランティアの協力もお願いし地域とのつながりを強くする。 ・年2回遠足を行う。(5月、10月)
②自己研鑽を図る	・研修の開始時間	・個人で年2～3回、研修に参加する。 ・デイサービス内での研修も計画する。(研修を受けた方の伝達研修等) ・デイ会議も利用する。
③他事業所との連携		・援助記録の確認を行う。 ・ケアマネ、ヘルパー、他事業所へ気付いたことは書面だけでなく、電話等での報告

### 30年度新規事業への取組み

#### ・緩和した基準によるサービス

実施場所	頓原公民館(予定)
サービス提供日及びサービス提供時間	週1回 4時間程度を予定
サービス内容	【健康確認(血圧、バイタル)、体操、買い物(エルシー)】
対象者	要支援1～2 サービス事業対象者(入浴、排泄、食事等の支援が不要なこと)
利用定員	15名(検討中)
実施区域	頓原地区

※基本的には頓原公民館で行っている健康体操を引き継ぐ

## 第2回頓原デイサービスセンター運営推進会議会議録

開催日	平成30年3月27日(火)	開催時間	14:00~15:00	記録	光田真也
参加者	K様(地域包括支援センター)、I様(公民館職員)、I様(地区代表) O様(家族代表)、A様(家族代表) 上田(事務長)、光田(事務次長)、倉橋(生活相談員)				
議題	1、頓原デイサービスセンター活動報告 2、介護予防・日常生活支援総合事業について 3、意見交換				
会議内容	1、頓原デイサービスセンター活動報告 別紙 運営推進会議資料にて報告 2、頓原デイサービスセンター事業計画報告 別紙 運営推進会議資料にて報告 質問等 Q、29年度のリスクマネジメントの報告で園外の事故とはどのようなものか？ A、送迎時に、自宅の畳を車椅子フットサポーターで傷つけた。(職員の不注意で起こった。同じ職員が毎回、同じ家の送迎につくととは限らないので、職員間での情報の共有が不十分であった) Q、介護保険外の配食サービスやおむつの販売は今後増えるのでは？ A、おむつの販売は大変喜ばれている。買い物に行けない場合や入院時に非常に助かったという意見がある Q、30年度の新規事業の取組み(緩和したサービス)の実施日、曜日等は具体的に決めているか？ A、現在、検討中である(週1回を予定している)実施区域をどこまでにするかも検討中である。 内容的には、公民館で行っている健康体操と買い物をセットした事業を引き継ぐ。 Q、他事業との連携とあるがこの事業所か？ A、併設の事業者や各事業所のケアマネ等 Q、利用者アンケートは行わないか？ A、前年度実施したが、なかなか本音の意見が聞けなかった。(良い意見が多かった) アンケートを実施したことにより、配食サービスやおむつの販売を本格的に実施した。短時間利用の要望もあったので取り入れた。				
次回開催予定	平成30年7月				